

東京支部 伊藤弘隆

眼科処置で取れた五十肩様の痛み

男性 60 歳 会社経営

主訴 左頸、左肩、左腕の痛み

随伴症状 頸の前屈で左手の指全てに痺れ

2ヶ月前ごろより痛みが出た。

4、5年前に似たような痛みが出たことがあるが整形外科で牽引をしたら治った。

今回は2ヶ月間牽引をしても全くよくなる。

肩 ROM は全て+

病院 X 線では C4-7 のヘルニアと言われた

既往歴 2ヶ月前にレーシック手術

家族歴 特になし

脈診 遅、やや洪

腹診 右天枢、心下部

圧痛所見 左肩井および三角筋周囲

処置

瘀血処置

陰陵泉

左郄門

左天宗周囲 4 点

二回目（4日目）

やや痛みが軽減する程度、指の痺れが少しましになった

脈診 遅、やや洪

腹診 右天枢、心下部

圧痛所見 左肩井

3回目（7日目）

脈診 遅、やや洪

症状前回と同じ

左眼科処置（攢竹、魚腰、太陽、四白）、Th4・5間V字刺鍼 追加

処置後、三角筋の前後の緊張と痛み消失

4回目（14日目）

脈診 細、胃の気少ない

左肩ROM外転時に三角筋の真ん中（肩ぐう、臂臑あたり）に痛みが出る

それ以外は可動域OK、痛みも大幅に減少、左中指に痺れ残る程度

左肩甲骨内縁は以前圧痛だったが、今は押されて気持ちよい

5回目（24日目）
脈診 やや数、やや緊
左三角筋が軽く突っ張る程度

6回目（35日目）
脈診 やや緊
左三角筋症状消失
腰が疲れる程度、手の痺れ消失

以後、1カ月に一回程度メンテナンスに来院。以来肩の症状は出ていない。

『考察』

最初に疑ったことは循環器の疲労が左肩へ影響していると思いました。

（洪脈※もあったため）

※ 洪脈・・・大、浮、陽証、疾病の亢進を現わす。左寸口の脈位で診る。幅が広い脈
通風、心肥大、狭心症の重篤な状態、神経性胃炎、暴飲暴食による胃炎などに診ら
れる。「新治療法の探求 p403 参照」

3回目より、痛みの軽減の少なさ、所見の変わらなさから初診の情報を検討し直しま
した。また、本で読んだ「眼心臓反射※」が頭をよぎり

※眼科領域の手術中に徐脈、不整脈、心停止をおこす反射のこと

目から心臓に負担が来ているのでは？と考えました
既往歴にも2ヶ月前にレーシック手術・・・とあり
症状が現れたのも2ヶ月前ごろ・・・
目→心臓→左肩周囲の循環不全→左肩の回復を妨げている？

そこで眼科処置を追加したところ

三角筋、僧帽筋の緊張と痛みが明らかに緩和されました
また脈状の「洪」にかんしては
やや洪・遅 → 細・（遅脈消失） → やや緊・やや数
と症状とともに変化がみられました。
初診、2診、3診と洪脈が治まらないことに違和感をいただいていたので
眼科処置を加えた後の4診目に脈状の変化があったとき、とてもほっとしました。
これで予後は良くなりそう・・・と思っていた通り
以降同じ治療を3回して症状完全に消失、肩ROMは全て（－）になりました。
脈状に意識を向けていたことが、治療法追加への後押しになりました。